

在宅医療・介護連携推進のための研修会(グループホーム部会) アンケートまとめ

開催日：令和3年8月9日(火) 午後7時～午後8時30分

テーマ：最期まで添い遂げたい、認知症の食支援

講師：牧野日和 氏 (愛知学院大学心身科学部 准教授)

参加者：73名

回答者：25名 (回答率：29.33%)

1 職種

薬剤師・・・3名

看護師・・・6名

理学療法士・・・1名

作業療法士・・・1名

栄養士・管理栄養士・・・1名

社会福祉士・・・4名

介護福祉士、ヘルパー等・・・4名(入所②)

ケアマネジャー・・・4名

その他(介護保険事業等推進員)・・・1名

2 所属

薬剤師会部会・・・3名

訪問看護ネットワーク部会・・・3名

リハビリネット部会・・・2名

ケアマネット部会・・・2名

グループホーム部会・・・5名

小規模多機能部会・・・1名

保健福祉部会・・・1名

その他・・・5名

3 本日の研修はいかがでしたか。

(1) わかりやすさ

①わかりやすかった・・・14名

②まあまあわかりやすかった・・・8名

③どちらでもない ④あまりよくわからなかった ⑤全くわからなかった・・・0名

(2) 満足度

①満足・・・8名

②まあ満足・・・12名

③どちらでもない・・・1名

④やや不満・・・1名

⑤不満・・・0名

(3) 今後、地域におけるご自分の活動に活かすことができそうですか。

①活かすことができると思う・・・11名

②部分的に活かすことができると思う・・・9名

- ③どちらともいえない・・・1名
- ④あまり活かすことはできないと思う・・・1名
- ⑤全く活かすことができない・・・0名

4 今後、企画してほしい研修などがありましたらご記入ください。

利用者の方の尊厳を守るためには、など
牧野先生の第2段をお願いいたします！！
認知症の方の自立支援
今回の研修の続きとして食に関する部分を丁寧に取り上げていただければうれしいです。
高齢社会の中、認知症の方たちとの関りも多くなっています。事例を挙げての対応の仕方を学ぶことが出来ればと思います
とても為になる内容で、まだまだお聞きしたいと思いましたので今後も企画して頂けたらと思います。
神経難病の人に対しての食支援等学びたいです
食事介助の方法、食事形態変更基準

5 ご意見・ご感想等

BPSD がおこっているのには理由があるので、しっかり考えて行きたいです
大変勉強になり、そして心にも響き内容でした。明日からの利用者様とのかかわりが変わりそうです。もっとゆっくり聞きたかったので、ぜひ第2段を期待しております。ありがとうございました！！
ありがとうございました。最後の方をもう少し聞けたらと思いました。
役割を持つ事で自尊感情が高まって、BPSDを防げるというところが興味深かったです。今後の関りに活かしていきたいです。
3時間の講習内容を1時間半と短い時間の講習であったこともあり、飛ばし飛ばしで、メッセージがつかみ取りにくかった。先生の熱い思いは伝わってきた。
食支援という新たな視点で対応を進めていきたいと思います。ありがとうございました。お疲れさまでした。講師の想いや熱意が伝わる研修でした。
認知症についての興味深いお話を聞く事が出来ました。ありがとうございます。ぜひ、今回の続きをお願いしたいです。
大変貴重なご講演ありがとうございました。勉強させて頂く事が出来ました。さらに、摂食嚥下の内容を詳しく拝聴したいと思いました。
認知症ケアに必要な知識を学ぶことが出来ました。対応方法等理解することで、関わり方も実際、変わってくると思います。今後の支援に役立てていきたいです。
時間の関係で全ての内容についてお聞きできませんでしたので、お聞きできなかった部分をまた改めて講演していただけると嬉しいです。
認知症の周辺症状、中核症状などは知識の部分であると思うので、実際の食支援等具体的なケアがもう少しあると良かったと思います。

ご利用者様と向き合い《その人らしさ》を考える事が出来ました。

日頃の業務に実際、関わりが殆どない状態ですが、大事なポイントがありました。

①相手に役割の中での自尊感情を大事にして寄り添うケアを心掛ける。

② 人が成長発達し老いていく。自分は、今どの地点でこれからどの様に向かっていくか？自分の現在地を認識するきっかけになりました。

③ つくづくケアに従事している方々の工夫、努力、辛抱大変だと思います。

人の命に向き合う事は本当に大変ですね。

アンケートとりまとめ 8/21 吉崎